

田房永子さんトークショー

「アナタのため」が つらくて

- 1部 田房さんのおはなし
- 2部 田房さんをつらい思いを経験された方々による対話
- 3部 湧き上がってきた思いの共有

2019/3/3 (日)
14:00 - 16:00

金沢市教育プラザ富樫
金沢市富樫3-10-1
131研修室

定員50名 (要申込)



田房永子さん
(tabusa eiko さん)



漫画家・ノンフィクションライター
東京都生まれ。2000年「マンガエフ」にて漫画家デビュー。2001年、第3回アックスマンガ新人賞佳作受賞。

母からの過干渉に悩み、その確執と葛藤を描いたコミックエッセイ『母がしんどい』(KADOKAWA/中経出版)を2012年に刊行。同じく母との関係に悩む女性から多くの共感を集める。『ママだって、人間』(河出書房新社)では、自身の妊娠・出産を通じ、この社会で「母親」でいることの窮屈さを描くことに挑戦した。近著に『それでも親子でいなきやいけないの?』『うちの母ってヘンですか?』(以上、秋田書店)、『キレル私をやめたい』(竹書房)

お問い合わせ・お申し込み

自分を見つけるママの会
スニーゲル マム
Snigel m.

Tel 090-5335-4140

Mail y_myky@yahoo.co.jp

こくちーズ (申し込みサイト)

<https://kokucheese.com/event/index/552049/>



Snigel m.(スニーゲルママ)は、1998年に結成された女性グループです。女性が自分のために自分のことを考え、話す ことのできる場を大切に、親子/家族関係、自己表現、ジェンダー等を学び合える、学習会や茶話会を開催しています。石川県オレンジリボンキャンペーン実行委員として、また金沢市と協働して児童虐待防止推進事業も行っています。



自分を見つける

スニーゲル マム
Snigel m.

Message from Snigel m.

スニーゲルマムからのメッセージ

私の感じるわたしの気持ち。

受け入れやすい感情も、認めたくない感情も、

みんなわたし自身からのメッセージ。

善いも悪いもなく、全部ぜんぶ大切な

わたし自身からのメッセージ。

人は誰でも、ひとりひとりかけがえのない力を持っています。

きっと、そう、わたしにも……！

「なんかわからないけど、満たされない」

「なぜかわからないけど、このパンフを手にしたくなった」

言葉にできない、ココロでもない、でも何か感じる。

それはわたしからの私へのノックかも…。

今わからなくても、そのままの私でもOK。

ただ、体中で感じる私自身からのシグナルを

大切に両手ですくうところからはじめたら、

新しい何かに出会えるかもしれません。

“Snigel” means. . . . ?

スニーゲル、って何？

「でんでんむし」という意味のスウェーデン語です。

あるひ、いっぴきのでんでんむしが、自分の背中の中からたくさんのかなしみがつまっていることに気づきました。

このかなしみをどうしたらよいものかと、友達をたずね、「もういきていられません」と言います。すると、友達は「あなたばかりではありません。わたしのせなかにも、かなしみはいっぱいです」と答えます。それじゃあ、と、べつの友達もたずねますが、そのでんでんむしも「あなたばかりではありません。わたしのせなかにも、かなしみはいっぱいです」と言います。でんでんむしは、友達を順にたずねますが、どの友達もおなじことをいうのです。とうとうでんでんむしは気がつきました。

「かなしみはだれでももっているのだ。わたしばかりではないのだ。」

そして、このでんでんむしはなげくのをやめたのです。



(絵本『でんでんむしのかなしみ』新美南吉 作 のあらすじ)